

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第256回

那須川 天心

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年6月10日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

**ビビリ屋だからこそ人の弱点を把握
して、克服しようと本気で練習する。**



那須川 天心は、日本のキックボクサー、総合格闘家、YouTuber。千葉県出身。TARGET/Cygames 所属。血液型 B 型。『神童』、『キックボクシング史上最高の天才』などと称される。得意のストリートは『ライトニング・レフト』。RISE 世界フェザー級王者。ISKA オリエンタルルール世界バンタム級王者。

Column

溢れる才能とその強さから『神童』と呼ばれる天才格闘家が、まさか“ビビリ屋”だったとは思いませんでした。ただ、“怖いからこそ準備を怠らない”という観点から、自信が過信となって足元をすくわれるという弱点がないということでもあります。そういう意味ではチャンピオンになる要素の一つとして“ビビリ屋”という部分は必要なのかもしれないと感じました。

この言葉を知った時の第一印象は先に述べた通りですが、次に感じたことは『ビビリ屋でなくても人の弱点を把握することはできる』ということです。それが勝利への近道であり、勝負する上で必要な準備であることを理解できれば、自分の性格に関係なくできるのではないかと思います。そして、これは勝負の世界に限った話ではなく、相手のことを把握（理解）することで、仲間とのより良いコミュニケーションに繋がるようになるはずです。

ここまで述べてきた中で、勝負にしても日常生活にしても、形こそ違いますが、それは全てコミュニケーションだと気づきました。コミュニケーションという言葉を見ると『気持ち・意見などを、言葉などを通じて相手に伝えること。通じ合い。』とあります。試合であれば『あなたに勝つために自分はこれだけの準備をしてきました！』という気持ちをパフォーマンスによって相手に伝え合います。日常会話であれば『あなたのことをこれだけ理解しています！』『自分はこういう性格なのでこのように考えます！』という気持ちを言葉にして表現します。それがうまくいけば、日常会話であれば“あなたと話すとなんか面白いからずっと（また）話がしたい”と思ってもらえるでしょう。そして、勝負となると“最高に楽しい勝負でした。今回は勝ち（負け）しましたが必ず再戦したいです！”と思ってもらえるでしょう。どうすればうまくいくのか。それは今回の言葉のように『本気で練習する』ということではないでしょうか。

正智深谷高校のみなさんは本気を出すために集まった人ばかりだと思います。将来のために本気の練習をここでしっかり積んでおきましょう！